

イラクの戦争も短い日数でアメリカが勝った。次は北朝鮮という構図になっている。

アメリカでは一家が家を守るためにピストルを持っている。狩猟民族であり、牧畜民族である。日本は農耕民族であり土着民族で生活の基本ベースが全く違うし、今は欧米型にすこしづつ変化してはいるが、考え方も宗教も文化も大きく違う。21世紀に入り閉鎖社会、鎖国状態の日本は人の面の交流、いわゆる外国人の受け入れ、輸出入の競争、オリンピック状態になってきた。大企業が外国のコストの安い国へ移転した。空洞化もどんどん進んでいる。コスト競争も国対国の競争となっ

てしまっている。小泉内閣の実体は構造改革であり、行政改革である。2年経過して国の財政事情の一端を申し上げると国民1人当たりの借金546万円であり日本の国債の格付けがチェコ、ハンガリーよりも低くギリシャやポーランド並みである。

国や県地方団体が巨額の借金をしている点であろう。国や地方の債務の合計が約693兆円ある。これは国民1人当たり546万円の借金である。福祉や年金を始めとする国民の要望に応えるには更に国債や県民債等の借金をしなければならない状態となっているのである。4年前が442万円、10年前は244万円からみると倍以上の恐ろしいバラマキ政策である。国の債務残高が世界の中でも大きすぎる点である。

日本の財政は破綻状態となっているのである。1日も早く国債に依存しない体質にしなければならない。現状は大量発行しているが。簡単にいうと市町村合併はこの財政面からでてきていることであり、更にこのデフレ経済化、株価低迷を始め、人件費を下げざるを得ない状態、公務員や議員の報酬も下げざるを得ない。破綻状態を心配しています。これも一人あたりであるが税金のあがり

税収は66万円、歳出は96万円もある。収入と支出の差が30万円もある。

公共サービス、ゴミ収集、福祉政策等をみなおさなければならない状態である。

国民は税の負担の他社会保障のための費用も負担している。平成14年度46兆6500億円もの公債を発行している。とにかく行政費用を低くしないと維持できない状態であるいわゆる火の車である。年毎に悪くなっている国のつけがまわってくる。法人会では5月7日VIPで市町村合併のお話を野口秀行氏を呼んでおります。午後4時30分より6時まで、法人会にしては珍しく市町村合併を取り上げてみたいと思っております。どうぞござってのご聴講をお待ちしております。

歳出と歳入の聖域なき改革に国挙げて取り組まなくてはならない時代に入りました。税制改革で歳入を増す選択肢は多くはありますが発泡酒を上げる、タバコ酒を上げる、こそこそと選挙を考えながら上げていますが、直間比率を見直し間接税を上げる即ち消費税10％時代の到来間近とみております。国民へのサービスの低下は勿論、直接税の法人税、事業税、固定資産税69％約7割です。あとの31％が消費税、酒税、揮発油税、その他間接税である。広く薄く公平に国民全体で負担する方法が税制の大原則であるとの考えであれば間接税アップはほぼ間違いないと思う。

税負担の国際比較からみると税の負担額はフランスは日本の倍、特に消費税が多い。ドイツ、イギリス、アメリカ、日本と日本が少ない。法人税は20％といわれているが今の経済状態からみると

日時 2003年9月25～26日

会場 東京ベイホテル東急

委員会報告： 親睦活動

6／4（水）サンセットディナーパーティー参加のお誘い

パンフレット配布しましたが、同伴者も振るってお誘いください。

会費は、1人9,000円ですが同伴者2人めからは15,000円です。

社会奉仕委員会代理（齊藤興一会員）次週13日裏館小学校植樹は長靴の用意をお願いします

ニコニコボックス：	6日現在累計	1,038,600円
-----------	--------	------------

藤田説量君 （三条RC）先日の葬儀にはお世話になりました。

梨木建夫君 藤田さん、外山さんいらっしゃいませ。ごゆっくりお過ごし下さい。中條さんの卓話楽しみにして居ります。

五十嵐茂君 ”

佐藤弘志君 ”

中條耕二君 藤田パストガバナーようこそ。三条高校同窓会長梨本会長8年間つとめられ100周年の大任を果されました。今度私にバトンタッチになり、きん張しております。私の課題は移転改築です。平成17年4月開校となります。どうぞよろしく。

早川龍雄君 3日、4日と結婚30周年の記念にバスツアーで青森県弘前城の夜桜見物に行ってきました。あいにく95％が散っていましたが、葉桜としだれ桜のコントラストが印象的でした。ちなみに、飲みすぎ、食べすぎ、運動不足で2kgも太ってしまいました。坂内さんお世話になりました。

笹原壮玄君 立夏ですがスポーツに興味に元気が出る季節です。本成寺では今月より修行僧が集まって来るので賑やかになります。よろしく。

阿部勝子君 中條様今日の卓話宜しく願います。

外山晴一君 中條さん卓話楽しみです。

木宮隆君 都合で早退です。中條さん卓話聞けずすみません。

岡田健君 早退します。

石川友意君 ☆BOXに協力して!! 6月4日のサンセットディナーパーティーにはたくさんの皆様のご出席をお願い申し上げます。

安田貞夫君 BOX協力

柄沢憲司君 安田君に協力して。

青木省一君 BOX協力

今井克義君 BOXに協力

ロータリー財団：

山 本 賢 君 長女が医師国家試験に合格しました。私はいかなる時も勇気と元気と人々に対する深い心と尊敬の念を持ち、確かな術技で感謝の心で全身全霊病む人の心身を癒し医療の道に磨をかけ、社会に貢献・奉仕する人になってほしいと願っております。

羽 賀 一 夫 君 岡田さんの協力で感謝して

岡 田 健 君 羽賀さんに協力

卓 話： 「ロータリーを楽しもう、最近感じたこと」 中條耕二会員



ロータリーに入会した人は、その道、職業の達人であり、人生苦あり楽ありの中、自分自身を奮い立たせ勝ち抜いた人である。もし私がロータリーに入会していなかったら器量の小さい自分の仕事一筋だけの節目のない人生になっていたかもしれない。

現役でしかも社長として働いた時を振り返ると砂漠にオアシスの例え通り、例会や親睦の行事が人の心をリフレッシュしてくれたり、心のゆとりを取り戻してくれたり、なんと言ってもストレスを解消してくれ、楽しみや感動を与えてくれたように思う。

人はいづれ病を得て浄土の世界へ行く運命にあるが、ストレス病からくる厄介な病気にかかる説もあり、ロータリークラブは一つのオアシスである。ある人はロータリーとかけてなんと説く、微温湯（ぬるまゆ）と説く、その心は上がったら風邪を引くと言った人がいた。

最近ロータリーのAGアシスタントガバナーを1年間やらせて頂いて、やれやれと思っていたら、今度は第2560地区のクラブ奉仕委員長をガバナーエレクトからご指名がかかった。どうして私を選んだのかと原さんに直接聞いたら、唯古い会員だと言った。古いからだけの理由で選ばれたが何もロータリーの勉強はしていない。長岡にある事務所に10回以上通った。月並みだがロータリーの効用、メリットを考える立場となり、会員増強始め、ロータリーの根っこの部分の一応リーダー、すなわち指導する立場になってしまった。夢想だにしなかったこと、平々凡々と過ごしたロータリーライフを悔いている。

ロータリーの会員になったメリットを質問されて、効用の第一は人間関係のネットワークが広がり、多くの友人が得られる事ではないかと思う。国内は勿論、国際的な組織を持つインターナショナルな団体であること。必然的に求めれば、人と人の情報ネットワークが簡単に得られることである。

第二は職業の違う人と友人関係が可能になることである。ロータリー発祥の原点である。

第三のロータリーに入会した魅力は良き人生の指導者、先輩とお話し合いの機会が生まれ、人の生き方、考え方に得る所あり、人生設計に役に立つことである。

第四は例会が学習の場であり、1週間に1回の情報を仕入れる場である。そして奉仕の活動も可能な会である。

第五は楽しいロータリー活動、親睦と友情を深める活動があること、家族ぐるみの親睦活動を満喫できることである。信頼できる友人が生まれ、肘の張らないつきあいが生まれるのである。

最近ロータリーの魅力がないとか、メリットがないと言って退会者は多い。5年前からみると500名減って、当2560地区は2300名位である。1クラブ平均45名であるので10クラブ以上減ったことになる。

危機感を持って私自身、一種の責任者の立場であるが、ロータリーの魅力づけとかは自分自身の姿勢にあると思う立場になって考えてみると人に誘われて入っても、入会したのは自分であって自己責任でるのが基本であろうが、リーダーということで退会防止に努める方法を考えたい。アンケートをとってみると新会員に対して、ロータリーの情報を与え、ロータリーの歴史、出席など教育していないクラブ56の中40%20クラブ以上有り新会員の退会が1年から3年に多い結果がでているのである。

地区協議会が5月24日（土）次年度の活動の指針が公表され協議される。地区協議会で原年度の重点事業が披露され各委員長よりガバナー方針をふまえてよりよい各クラブへ活動事例や研究の成果、今迄の実績が示される。今迄は各委員長はパストガバナーであったが、パストガバナーはアドバイザーであり最後のまとめである。原ガバナーエレクトは私たちクラブ奉仕に対して地区会員数を2560名にせよとハッパをかけた。2300名からみると260名の増強である。約1クラブ5名の増強目標を与えられた。米山委員長始め、大野さん、阿部さん、西巻さんと対策を練っている所である。

原年度の一つの特徴の中で56クラブの週報を集めてコンペをやることである。優秀3クラブか5クラブを選ぶ予定であり次の横山年度で表彰される。

それから3名以上の増強をした人もガバナー賞が贈られる。馬にニンジンであるが少しでも効果ができればと思っている。増強重点クラブを訪問して米山委員長とスタッフの方々となんとか成果を出したい。

ロータリーのこと以外に考えている一端をお話したい。

イラクの戦争から今度は新型肺炎SARSという恐ろしい病気、毎日報道されているこの病気によって更に経済に悪い効果が出てきた。今や世界の生産工場の中国北京を中心に発生し猛威を振っている。

アメリカと中国が接近している。

ロータリーの魅力のなくなった一つに職業の同一5人迄、入会可能にした点でないかと思う。規定審議会で定まってしまった、目標は世界中にロータリークラブをつくろうの悲願は今、120万人、100年を目指して150万人の達成である。